

まきのみだより



千葉県立槇の実特別支援学校
令和3年度 VOL. 2
令和3年4月30日 発行

◇42名が入学しました

令和3年4月9日に、令和3年度の入学式を行いました。

小学部9名、中学部16名、高等部17名が入学し、今年度は小学部50名、中学部44名、高等部49名の総勢143名でスタートです。

入学式では、入学生呼名に対して、一人一人が精一杯の返事をすることができました。入学生の意欲に満ちた表情と返事が印象的でした。

感染症対策のため、在校生や来賓がいない入学式でしたが、生徒会長からの映像による歓迎の言葉やPTA会長からの書面によるお祝いの言葉をいただきました。また、校歌の伴奏に合わせて、参列者が手話や身振りサインで歌詞を表現しました。本校の小・中学部卒業生以外の入学生や保護者の皆様も、演示している職員の動きを見ながら一緒に参加していただき、一体感のある温かい入学式となりました。

保護者の皆様には、参列の人数等感染症対策に御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。

校庭の「桜」



◇with コロナ、after コロナ時代の「槇の実の新しい学び」に向けて

昨年度は、今までに経験したことのない学校生活になりました。学習活動や行事を中止したり内容を変更したりしましたが、御家庭や施設の皆様の御協力により、6月以降は休校することなく、子供たちの学びを継続することができました。新しい生活様式が求められる中、手洗いを自分からできるようになったりマスクを着けることができるようになったりと、今後の体調管理に必要なスキルを身につけるきっかけになりました。また、行事や学習内容を見直す中で、一人一人がより活躍できる機会をつくることができたり、友達同士の絆を深めることができたりした点は、大きな成果でした。

今年度も、感染症対策をしながらの学校生活には変わりはありませんが、昨年度の経験や学びの蓄積があります。令和3年度は、一昨年のような学習や行事と同様にはできませんが、感染症が拡大しても休校が続くような事態がなければ、計画の変更をしないで実施できるよう教育活動をすすめていきます。

コロナ禍の中、オンラインの学習やテレワークの導入など加速度的に超スマート社会への変化が起きています。人との接触を制限しようとする社会の流れの中で、障害のある児童生徒が、障害特性による学習上・生活上の困難を克服し、自立と社会参加の力を身につけるための方策を考えていかなければなりません。職員一同「笑顔とチームプレイ」で「槇の実の新しい学び」をつくっていきたいと考えています。御理解・御協力をお願いいたします。

校長 渡邊 昭宏 正門近くの「槇」の木

